

## ミャンマー視察ミッションを終えて（ご報告）

（一社）日韓経済協会

（一財）日韓産業技術協力財団

常務理事 杉山 茂夫

日韓が連携した第三国展開ミッション、今回は「日韓国交正常化 50 周年記念事業」（視察期間：2014 年 2 月 24 日～26 日）として、ミャンマーを訪問しました。日本側参加者 29 名、韓国側参加者 19 名と総勢約 50 名のミッションとなり、また、日刊工業新聞社、NHK ソウル支局からの同行も得て、マスメディアによる映像としても記録されたミッションとなりました。

日程に沿ってお話したいと存じます。

我々はミャンマーに到着した翌日 24 日（月）の午前中に、「ミンガラドン工業団地」を訪問しました。同工業団地はヤンゴン中心部から北方に車で約 40 分の場所にあり、訪問時には工業団地の責任者から詳細な説明を受けました。説明後は工業団地内を 2 台のバスで巡回することができ、稼働している企業、中断している企業、これから開発する区画など見ることが出来ました。

説明によると、全区画（41 区画）はもうすでに完売とのこと。ただ、稼働中の企業も、電力不足の影響は大きく、現在も計画停電があり、1 日 5 時間しか電力が供給されない時期もあるので、各企業とも自家発電で対応しているとのこと。

電力安定供給が、他の工業団地も同様ですが、喫緊の課題となっています。

24 日の午後は、宿泊ホテルのチャトリウムホテル内の会場で「日韓連携第三国展開セミナー」を開催しました。現地駐在の専門家の方々に集まって頂き講演、議論にも加わって頂きました。ミャンマーは電力不足の解消、上下水道整備など、様々な分野でインフラ関連のビジネスチャンスが多く存在していると感じました。

セミナーの始めに、日本貿易振興機構（JETRO）ヤンゴン事務所長から「ミャンマーの投資環境と日系企業進出動向」、大韓貿易投資振興公社（KOTRA）ヤンゴン貿易館長からは「ミャンマーの投資環境と進出戦略」について、特に現在置かれているミャンマーの状況、日本企業、韓国企業の進出状況など全般的な講演をして頂きました。

続いて、ヤンゴン日本人商工会議所会頭から商工会の活動状況などお話を頂き、韓国企業のメモグンホン・インターナショナル社長から日韓が競争していくのではなく日韓が連携していくべきだと、特に中国企業の進出に対抗して連携すべきであるとの発言もありました。

私もその通りだと思いました。

また、三菱商事ヤンゴン事務所長からは、ミャンマー／ティラワ工業団地の開発の紹介があり、総開発面積は 2,400 h a で、そのうち 400 h a を先行開発する計画とのことでした。韓国企業にも是非参加して頂きたいとの発言もありました。

続いて、大宇インターナショナル社長からは、ミャンマーにおける事業概要など説明がありました。韓国三菱商事社長からは「ミャンマーにおける日韓経済連携の意義」など講演を頂きました。

皆様から大変示唆に富んだお話ばかりで、ミッション参加者にとって、有意義なセミナーとなりました。ご講演を頂いた方々には、感謝申し上げます。

講演の後は、フリートークに移り、現地の進出企業の代表から小売業、不動産開発、金融インフラなど多方面にわたるご意見、また、ご苦労話などを交えた興味深いお話を伺いました。

ミッションの参加者からも、質問、意見が続き、大変活発な意見交換ができたと思えます。

また、セミナー終了後、在ミャンマー日本国大使館公使、在ミャンマー大韓民国大使館参事官を交えて、懇親交流会が開かれました。

25 日（火）午前中は、ティラワ地域へ、バスで移動しました。ティラワはヤンゴン中心部に近い良好なロケーションで、車で約 1 時間で到着しました。ティラワに向かうバス 2 台の中で、M J T D（ミャンマー・ジャポン・ティラワ・デベロップメント）の社長、副社長による、それぞれティラワ地域の開発状況など、道路が整備されていないので、大変揺れるバスの中でお話を頂きました。有難うございました。

ティラワ S E Z 開発地域は、第 I 期工事の途中で、我々は大きな看板の前で、広大な敷地を背景に、ミッション参加者全員で記念写真を撮りました。

開発地域のすぐそばにティラワ港があり、港に横付けにされた船に資材の積み下ろしをしている現場も実際に見ることができ、大変参考になりました。

昼食後、タケタ火力発電所建設予定地に行きました。ティラワ地域の近くにあり、これから建設の計画で、広大な敷地を目にしました。韓国企業連合が建設を受注した火力発電所ですが、このタケタ発電所完成後の電力は、ティラワ地域に供給される計画とのことです。

26日（水）は、韓国側参加者は25日に帰国しましたが、日本側参加者はタイのバンコクに移動し、泰国三菱商事社長から「タイから見たミャンマー」と題し、タイ国の概要、タイ投資の現状と今後の日タイの産業連携について、講演をして頂きました。また隣国ミャンマーとタイとの関係についても大変興味深いお話を伺いました。ご多忙中ご講演を頂き、有難うございました。

扨て、私もミャンマー視察ミッションを終えて、現場を実際自分の目で見てわかったこと、現地の方々のお話、セミナーでの講演、意見交換を通じてわかったこと等、得たものは大きかったと思います。私自身も大変貴重な体験をさせて頂いたことに感謝申し上げます。

最後になりますが、日韓・韓日のミッション参加者が、暑いミャンマーで、体調を崩すことなく、また事故もなく、視察を終えることが出来ました事は、参加者、現地の方々のご協力のお蔭です。御礼申し上げます。

以 上